

郵政民営化委員会（第268回）議事要旨

日 時：令和5年11月20日（月）15:30～16:00

場 所：郵政民営化委員会室（永田町合同庁舎3階）及びオンライン

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員
（敬称略）

日本郵政株式会社 浅井専務執行役

日本郵便株式会社 田中執行役員

株式会社ゆうちょ銀行 新村常務執行役、吉田執行役

株式会社かんぽ生命保険 宮澤常務執行役

1. 議事

- ・日本郵政グループの2024年3月期第2四半期決算等について

2. 委員会での説明・意見等

- 日本郵政グループの2024年3月期第2四半期決算等について【資料268-1～5】

① 資料に基づき、日本郵政グループより説明。

② 委員からの意見等

- ・土曜配達等をやめたことで、郵便の配達に時間がかかるイメージをもたれている可能性があるが、速達をブランディングするなど、もう少しアピールしたらどうか。

（⇒（日本郵便）2024年問題がある中でも、速達のサービス水準をしっかりと維持していきたいと思っている。速達の魅力をアピールすることも必要と考えているので、郵便の位置づけの中で速達の魅力向上をどう図っていくのか社内でも議論しながら進めていきたい。）

- ・郵便ポストは一つの財産である。いかに使っていくかが重要。例えばポストの入口を大きくし、さらに使い勝手の良いものとするにより、小さな物流をしっかりと取り込めるのではないか。

（⇒（日本郵便）ゆうパケットポストは売り上げが伸びてきており、郵便ポストがある点が物流業界の中での強みと認識。現在、投入口の大きなポストを実証的に設置する等、投函の利便性向上に取り組んでいるところであり、実証も踏まえて検討してまいりたい。）

－以上－

注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。